

熊谷市の商業の活性化

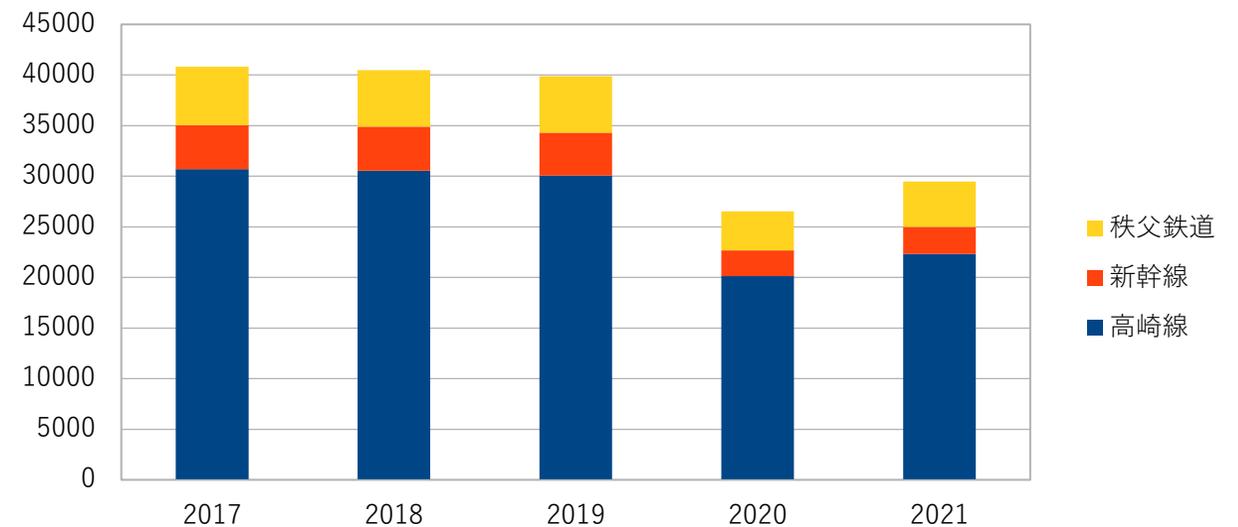
熊谷工業高校 エレクトリカルバナナ

熊谷駅の現状

- ・ JR高崎線、秩父鉄道、上越新幹線が乗り入れている

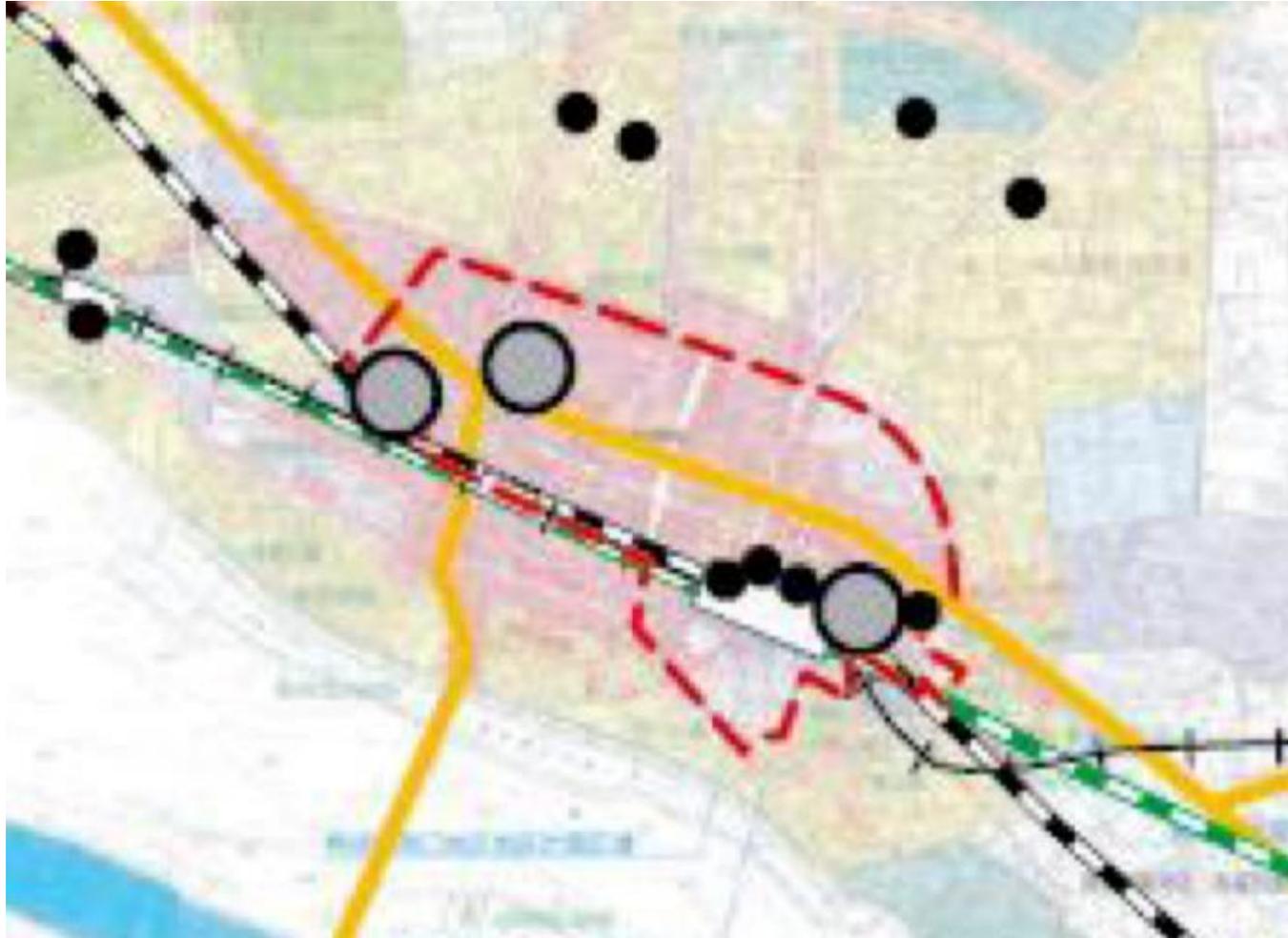
- ・ 一日の平均利用者数は高崎線が26,991人、秩父鉄道が4,491人、新幹線が3,590人で年々減少傾向にある。

- ・ 利用者は都会への通勤などで使用していて、熊谷が目的地ではないことが多い



Wikipediaより

駅周辺に人が固まる理由



-
- 大型小売店 (1,000㎡以上)
 - 大型小売店 (10,000㎡以上)
 - 市町村域
 - 中心市街地
-

•このように駅周辺に大型の小売店が固まっております。また、中心部には一店舗もないせいで、人が来る理由がないことがわかる。

エリアの違い

西エリア-住宅が多いエリア

- ・住宅が多く、生活の場として機能している

東エリア-駅に近いエリア

- ・駅に最も近く商業施設が充実しているため、人も集まりやすくなっている
- ・ひとが多く集まっている

中央エリア-空きテナントが多いエリア

- ・商店街は存在するが空き店舗やテナント募集の掲示が多く見受けられる

移動手段のアイデア-自動バス

- ・ 予め作成した地図データ上に設定したルートを走行(いつでも変更可)
- ・ 最大乗車可能人数 1 2 人
- ・ 最大速度40km/h
- ・ 費用 **1台約5.5千万～8千万円**
修理費用 **約1～2千万円**
- ・ 試験導入はされているが実用化までには至っていない



移動手段のアイデア-路面電車

- 線路の上のみを走行(基本的に変更不可)
- 最大乗車人数160人
- 平均30km/h
- 費用 距離にもよるが数十億必要

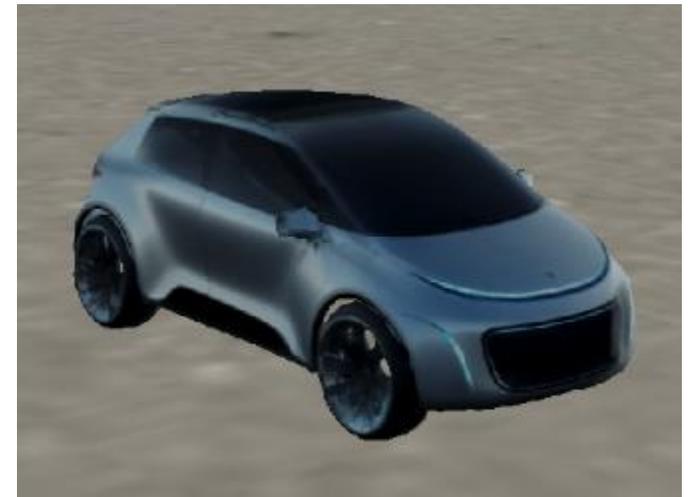


移動手段のアイデア-実現性が低いと判断

代行運転	シェアサイクル
<ul style="list-style-type: none">・ 人間が運転するため人件費が必要・ 普通の自動車並みの速度・ 乗車人数は多くて4人程度・ 費用は<u>安い</u> 	<ul style="list-style-type: none">・ ワイルドナイツサイクルシェアリングなどがある・ 利用者の好きなところへとおける・ <u>費用が一番安い</u>・ 駐輪場を新たに立てる必要がある 

移動手段のアイデア-自動運転コミュータ

- 速度は15km/h程度
- 信号や標識、障害物をカメラで検知
- ルートを柔軟に決定・変更が可能
- 電動であることで環境に配慮した交通手段として市のイメージ向上に寄与する
- 費用は路面電車などより比較的抑えやすい



課題解決を目指した交通手段の導入

- ・ 自動運転コンピューターの導入
 - ・ 低コストで実現可能
 - ・ 持続可能な交通システム
- ・ 期待される効果
 - 人流集中の改善と周辺商業地域の活性化
- ・ 今後必要なこと
 - ・ 地域住民や事業者との対話
 - ・ 具体的な計画の策定と導入準備

ご清聴ありがとうございました